

# 野良猫の苦情が増えています。地域ぐるみ



# で解決を目指しませんか？



引き取ってもらえない、餌やりをやめてもすぐにいなくなるものでもない、では **どうすれば？**

地域の猫対策への取り組みがすでにいろんな場所で展開されています。それを参考に「住む町の美化活動」  
として、猫が増えない対策を協力して行っていくのが、最も効果的な方法と思われます。  
猫を増やさないためには何が必要なのでしょう。ここではその一例をご紹介します。

## Point 1 肝心かなめは「不妊去勢手術」

手術をすれば、子猫は生まれなくなります。発情しなくなるので大きな鳴き声がなくなり、尿の臭いが薄くなります。かわいそうという方もいますが、飢えたり事故や病気で苦しみながら死んでいく子猫を増やさないため、猫を悪者にしないために手術は大変有効な手段です。

また、手術済みであることがわかるように、手術した猫の耳を V 字にカットすることは全国共通の取り組みです。



## Point 2 餌やりのルールを決める

餌をあげる時間と場所を決めます。食べ終わったら置き餌をせず片づけます。(置き餌に野生動物や野犬が来るという相談もあります。) 場所と時間が定まれば決まった猫がその時間に來ますので、野良猫の個体の把握と、不妊去勢手術のための捕獲に繋げることができます。

## Point 3 トイレの設置は餌やりとセットで

食べたら必ず排せつをします。これが多くの野良猫トラブルの原因です。猫は柔らかい砂、雨が降らない場所、囲われているところ、餌場から少し離れている場所で排せつをします。プランターなどに砂を入れてトイレを作ることと餌をあげることはセットと考えてください。餌を食べてから排せつをすることが多いので、餌を片付けてからトイレの掃除をするようにしましょう。



## Point その他 手術費用について

飼い猫にはありませんが、高知県と南国市には「飼い主のいない猫」の不妊去勢手術助成金制度があります。これらを活用しながら自治会などでやりくりをする、募金やバザーで費用を募るなどの方法もあります。

## 野良猫の寿命

野良猫の寿命は平均5歳と言われています。外は過酷な環境のうえ、交通事故や病気、けんか、カラスに襲われる、餌不足など、いろんな理由で短命と言えます。手術をして、一代限りの命を見守ることで猫が増えにくい地域づくりができます。



野良猫の問題は、個人の問題だけではなく、町内、ひいては南国市全体の問題でもあります。原因を解決しないと問題が解決することはありません。猫を好きな方もそうでない方も互いに理解をし、いろいろな情報を共有して、地域ぐるみで話し合い、解決の道を探しませんか。

■問い合わせ/環境課 ☎088-880-6557  
高知県中央東福祉保健所 ☎0887-53-3190

「野良猫」は **野生動物ではありません。**  
ではどこからきたのでしょうか？

もとは飼われていたが捨てられた、手術をせずに外飼いをしたため増えてしまった、迷子になってしまって家に戻ることができなかったなど、餌やりだけが原因ではありません。

南国市役所や県福祉保健所には、多くの「野良猫に関するご相談」が寄せられますが、速効性のある手段が少なく、また、猫に対する感情も人それぞれで円満な解決が難しいのも事実です。

市役所、県福祉保健所は  
野良猫の **捕獲、収容はできません。**

犬は狂犬病予防法や高知県動物の愛護及び管理に関する条例という法令を根拠に、繋がれていない犬を収容することができます。一方、猫は動物の愛護及び管理に関する法律により愛護の対象となっており、むやみに所有者不明の猫を捕獲することも収容することもできません。

**繁殖力が強い**

猫は年に 2~3回発情し、妊娠率も高いため、一匹のメス猫が一年半で30匹以上出産し、ネズミ算式に増えてしまいます。



**餌をあげなければいいのか？**

糞害(ふんがい)などに困って「餌をやらなければいい」という方もいますし、「かわいそうだから」と餌をやる方もいます。餌やりをやめれば良いと思われがちですが、お腹をすかせたら家の中に入ったり、ゴミ置き場をあさるようになります。そのことで地域の環境が損なわれることにもなりますし、猫は餌を求めて他の地域へ移動することになります。餌をあげなければ消えてなくなるという簡単な事でもないのです。ただ、猫が好きな方もそうでない方も【野良猫で困っている】という点では思いは同じはずです。

